



蓄積性に関するワークショップご案内

日時：2023年11月1日（水） 12:50-17:30 （17:30-19:30 懇親会）

会場：ステーションコンファランス東京 6F 605 A+B+C 会議室

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

J R 東京駅日本橋口直結

テーマ：蓄積性に関するワークショップ（ラウンドテーブル）

蓄積性についての評価方法をめぐる議論と望ましい評価方法

主催：ケイ素化学協会

協賛：日本化学工業協会 セタックジャパン

American Chemistry Council (ACC) Global Silicones Council シリコン工業会

International Council of Chemical Associations (ICCA)

事務局：ワークショップ事務局(シリコン工業会 事務局 野口)

プログラム

11:45-12:45 発表者・ラウンドテーブル参加者、関係者のランチ打ち合わせ

ワークショップ 12:50 開始

12:50-13:00 ケイ素化学協会会長からご挨拶 九州大学特任教授 永島 英夫

13:00-13:45 Bioaccumulation Assessment Tool の紹介 トロント大学教授 Jon Arnott
(WEB での参加予定)

13:45-14:30 化学物質の蓄積性評価をめぐる論点とトレンド (35分発表、10分 Q&A)
三菱ケミカルリサーチ 博士 新野竜大 山崎哲明

14:30-15:15 蓄積性の適切な評価方法(BCF, BMF, TMF)と代謝の役割 (35分+10分)
Dr. Frank Gobas, Professor, Simon Fraser University

15:15-15:30 休憩

15:30-16:20 環状シロキサンの蓄積性についての論点(ECHA パブコメを通じた議論)
Dr. Kathy Plotzke, ICCA LRT Chair, Scientist, Dow

16:20-17:20 蓄積性評価をめぐる論点整理と今後の評価の在り方について議論
ラウンドテーブル参加者

講演者および九州大学 大嶋雄治名誉教授、鹿児島大学 宇野誠一教授、
愛媛大学 鏑迫典久教授、

国立環境研究所 環境リスク・健康領域/副領域長 博士 山本裕史

産業技術総合研究所 リスク評価戦略グループ グループ長 博士 内藤 航

花王株式会社研究開発部門研究主幹/研究戦略・企画部部长 博士 藤井健吉



17:20-17:30

ご挨拶 日本化学工業協会 専務理事 進藤秀夫

17:30-19:30

懇親会 (参加会費 1,000 円)

ワークショップ会場の隣の部屋

以上